

令和8年第14週 (3月30日~4月5日)

インフルエンザが減少しました

今週の報告数は17人となり、先週の52人から減少しました。型別はすべてB型でした。豊肥管内の定点あたりの報告数も1.00人と、先週の5.00人と比較して減少しました。型別は、B型:100%となっています。大分県全体の定点あたり報告数は2.21人となり、先週の4.95人から減少しました。先週より流行発生警報が解除されています。

RSウイルス感染症の妊婦さんへの定期予防接種の開始について

RSウイルスは小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、生後1か月までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも1度は感染するとされています。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴(ゼーゼーする)や呼吸困難、細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

今回の予防接種は、母子免疫ワクチンを使用します。生まれたばかりの乳児は免疫機能が未熟で、自分で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

スケジュールは、妊娠28週0日から36週6日までの間に1回接種となっています。

詳しくは、お住まいの自治体やかかりつけの病院へご確認ください。

新年度は人の交流が増え、感染症が広がりやすくなります。

手洗い・咳エチケット・換気を徹底し、体調不良時は外出を控えましょう。予防接種歴の確認も大切です。



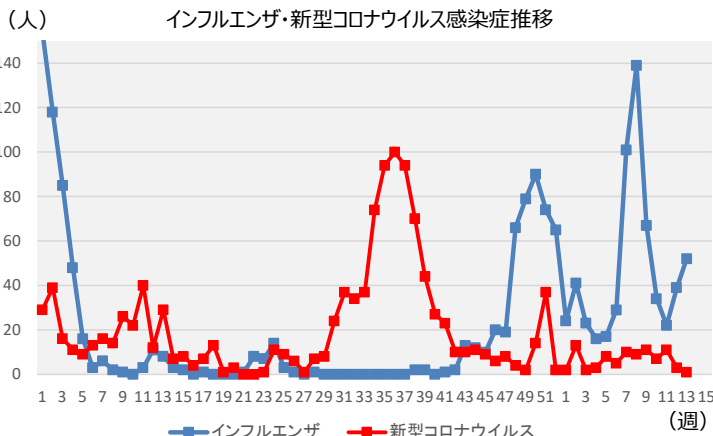
(第14週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つが虫病(全数報告)	
	A型	B型	不明																	
0歳		1																		
1~3歳		2																		
4~6歳		6																		
7~9歳																				
10~14歳		1																		
15~19歳		1						1												
20歳以上		6		1				1												
今週		17		1				2												
		17																		
70歳以上(再掲)																				
先週		52		1				2				1								

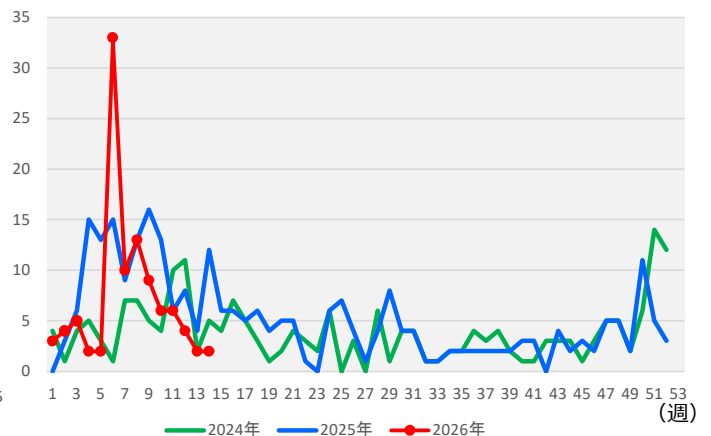
2025-2026年 竹田地域

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人)

感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



基本的な感染対策

感染予防に取り組もう！

1. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止！
2. その場に応じて、マスクや咳エチケット！
3. 常時、または、こまめな換気！
4. 手洗いや手指消毒をしっかりと！



令和8年度から、
妊娠28週～36週の妊婦の方を対象に

RSウイルス 感染症に対する 母子免疫ワクチンの 定期接種を実施します。

RSウイルス感染症は乳幼児が感染すると重症化することがあります

RSウイルスは小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。

感染すると、発熱、鼻水、咳などの症状が出現し、初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、重症化することがあります。

2010年代には、年間12万人～18万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され、3万人～5万人が入院を要したとされています。



定期接種の対象

接種時点で、**妊娠28週0日 から 36週6日** までの妊婦の方
過去の妊娠時にRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)を
接種したことのある方も対象になります。

定期接種を受ける方法と費用

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村で実施されます。
接種できる場所や費用について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。また、里帰り出産によりお住まいの市町村外での接種を希望する場合についても、お住まいの市町村にお問い合わせください。

